



平成29年12月22日

**広島大学は国際放射線防護委員会（ICRP）、
福島県立医科大学、長崎大学と覚書を締結しました**

11月24日、広島大学は、国際放射線防護委員会（ICRP）、福島県立医科大学、長崎大学との覚書（MoA）を締結しました。

本学は、平成28年4月に福島県立医科大学、及び長崎大学とネットワーク型共同利用・共同研究拠点（放射線災害・医科学研究拠点）を設置しています。これらの連携大学と共にICRPとMoAを締結することで、福島第一原子力発電所事故からの復興に取り組む中で構築した協働関係を、グローバルに発展させることが期待できます。

ICRPは、放射線防護に関わる多様な分野の科学者等を委員とする非政府・国際組織であり、その勧告は、世界の放射線防護の基準となっています。同委員会は、これまでに、本学からインターンシップを派遣したり、主委員会副委員長ジャック・ロシャルル氏に客員教授に就任いただくなど、人材育成における協働体制を構築してきました。

今後は、連携大学とともに、ICRPの放射線防護に関わる人材育成プログラムの開発を共同で推進する予定です。直近の活動として、平成30年2月10日から11日にICRP等が福島県南相馬市（包括協定締結済み）で開催する住民の対話集会には、本学大学院リーディングプログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」の教育の一環として、学生及び教職員を派遣する予定です。

【お問い合わせ先】

教育室コラボレーションオフィス
フェニックスリーダー育成プログラム事務室
TEL:082-424-2282 FAX:082-424-6821